



株主のみなさまへ

第42期 | 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

株式会社 王将フードサービス

証券コード:9936



常に時代の先を見据え、 変化に即した事業の発展を追求していきます。

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととご拝察申しあげます。

さて、第42期第2四半期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の決算が確定いたしましたので、ご報告申しあげます。

今後とも社業のさらなる発展に向けて全力を尽くしてまいります。つきましては、株主のみなさまの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

代表取締役社長 **渡邊 直人**

平成27年12月

Q 当第2四半期の市場環境と業績をご説明ください。

A 外食産業を取り巻く環境はなおも厳しい状況が続いています。競争の激化を背景として、過去に業績が良いとされた企業でも、いつ逆風が吹くか分からない状況です。また、為替相場の円安傾向から輸入食材の調達コストが増えており、これが利益圧縮の要因となっています。一方、時代のニーズをうまく掴んだ新興企業が相次いで登場するといった動きも見られ、先を見据えた経営の重要性を強く感じています。

そのような中、当社は食の安心・安全、また健康の観点から食材の国産化に努めたほか、労務環境の改善のため店舗営業時間の見直しなどを断行してきました。そのため、営業時間短縮の影響で来店客数が減少し、売上高も前年同期比で減少する結果となりました。一方で、業務の効果効率化による生産性の向上やコスト削減に努めた結果、利益面では増益を達成することができました。

Q 経営課題と取り組みを教えてください。

A 人口減少や高齢化を背景に、国内の外食産業を取り巻く環境が大きく変わりつつある中、当社では経営の革新に向けて様々な施策を実行しています。市場が縮小傾向にある今日、リーズナブルな価格帯でのメニューの提供とともに、高付加価値の追求が欠かせません。

現在注力しているのは、食の安心・安全・健康を第一に考えた取り組みです。日本各地の農家との提携関係を強化しながら、食材の国産化という一大改革に挑戦しています。年間300トン近く消費するにんじくは青森県産を、また餃子の皮や麺に欠かせない小麦粉は北海道産を使用しています。国産化により食材の調達コストは増大しているものの、お客様から評価の声を多数いただくなど手応えを実感しています。特に主婦層をはじめとする女性のお客様が増えており、生餃子のテイク

アウト需要が伸びるなど、新たなビジネスの芽が着実に育ちつつあります。

Q 店舗展開の現状と今後の出店政策を教えてください。

A 現在の706店舗から、2020年に1,000店舗への拡大を目指しています。特に首都圏での出店を強化する布石として、約75億円を投じて埼玉県東松山市に東日本エリアの販路拡大を担う新工場を建設中です。来年3月の竣工を予定しており、生産ラインの稼働によっておよそ500店舗分の食材を供給することが可能となります。

今後の店舗数拡大においては、直営店に加えフランチャイズの拡充を検討していきます。市場の縮小傾向とともに、外食産業では撤退や業態転換といった動きが顕著になっています。こうした状況に対応する中でコストを抑えた新規出店が可能なため、当社としてもビジネスチャンスには機敏に対応していく考えです。

Q 現在、積極的に取り組んでいる女性の活用策について教えてください。

A 今後、日本は毎年30万人規模で人口が減っていくと予測されています。当社はこの現状を直視して経営の革新を図っています。人口減とはお客様が減る一方、労働人口の減少も意味します。つまり、従来のビジネスモデルを踏襲するだけでは成長は見込めません。

そこで重要なのが、女性のお客様を増やす施策だけでなく、人材としての女性の活用です。当社では新たに週30時間

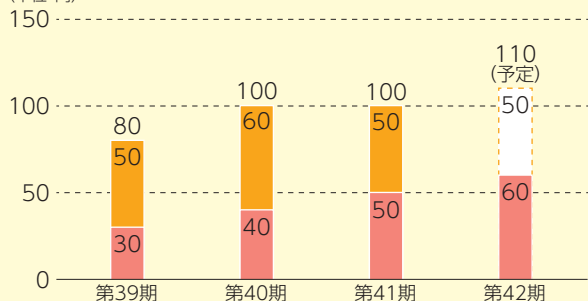
制の正社員制度を導入しました。これによって仕事と家庭の両立を促しつつ、店長待遇で活躍できる機会を増やしていきます。女性客層の取り込みにあたっては、女性社員こそニーズを最もよく知る立場にあるため、女性の活用をこれからも加速させていく考えです。

Q 厳しい環境の中で、どのように強みを発揮していくのでしょうか？

A 当社は創業以来、約半世紀にわたって創業者の精神を追求してきました。日常食に特化して、日々の暮らしを豊かにすることを願って事業を継続しています。この思いは今後も変わることはありません。一方で、世の中のニーズが変わる中、それにふさわしい経営戦略をトップが構築し、現場が実践していくことも重要です。当社の各店舗は地域ごとにメニューに創意工夫を凝らしていて、その多様性こそが強みです。今後もお客様と従業員、そして株主のみなさまに貢献できる企業として、何事にもバランス感覚を重視した経営に邁進してまいります。

1株当たり配当金

(単位:円)



広く社会進化へ貢献する効果効率的経営を実践 月約2万時間相当の営業時間を短縮するも売上高は微減※

第2四半期の ポイント

- ① 食材の国産化など高付加価値メニューが奏功、8月・9月は過去最高売上を達成。
- ② コンプライアンスを重視、従業員が働きやすい環境整備に注力。
- ③ 株主還元強化のため中間配当を10円増配、1株当たり60円に。

売上高

37,910 百万円
 (前年同期比0.0%減※)



経常利益

3,423 百万円
 (前年同期比29.2%増※)



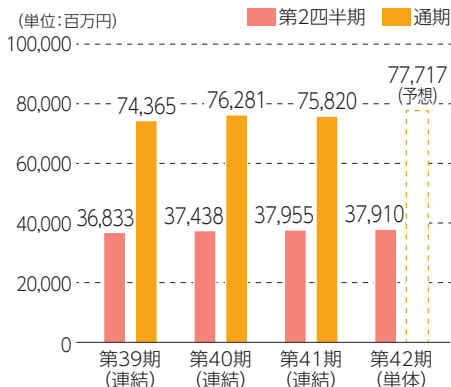
四半期純利益

2,142 百万円
 (前年同期比46.4%増※)

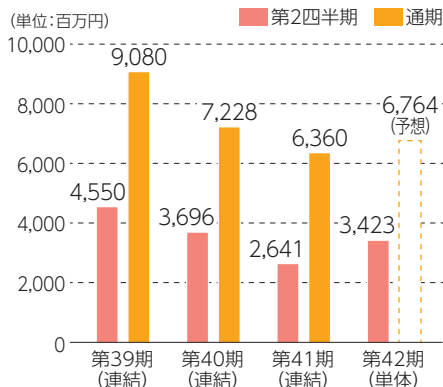


主要経営指標等の推移

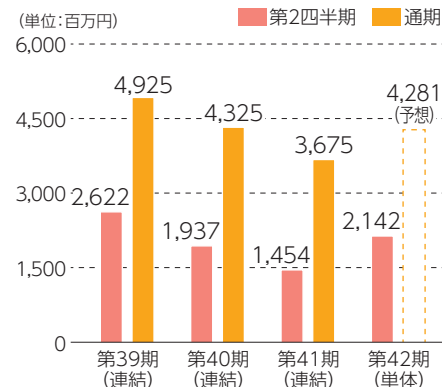
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



※当社は、当期より単体決算に移行したため、前年同期比は参考数値です。



詳しくは当社IRサイトへ

にとどめる

王将フードサービス IR

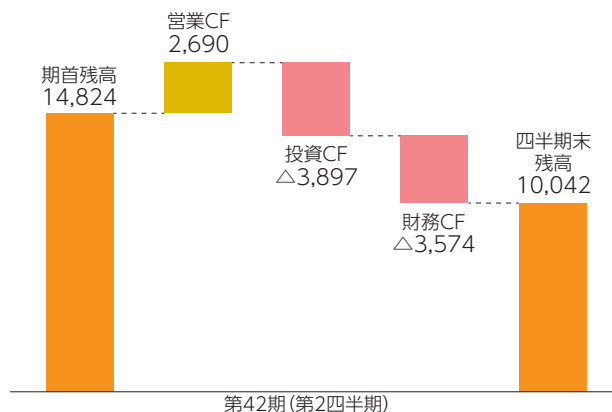
検索

資産の状況

(単位:百万円)

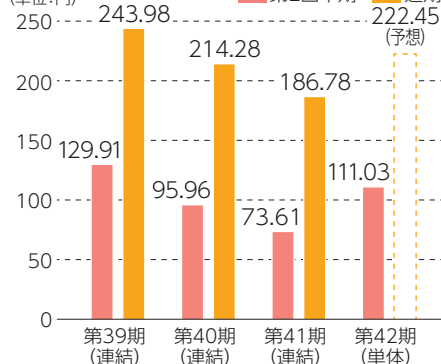
	第41期末 (単体)	第42期第2四半期末 (単体)
流動資産	16,791	12,032
固定資産	46,763	48,840
流動負債	14,380	13,544
固定負債	6,864	5,274
純資産	42,309	42,053
総資産	63,554	60,872

キャッシュ・フローの状況



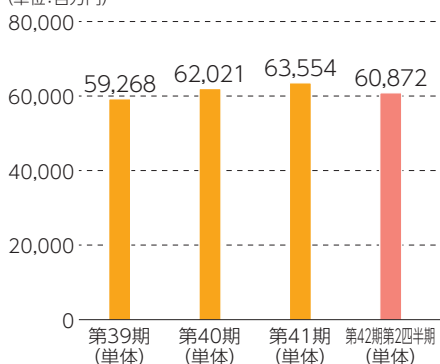
1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)



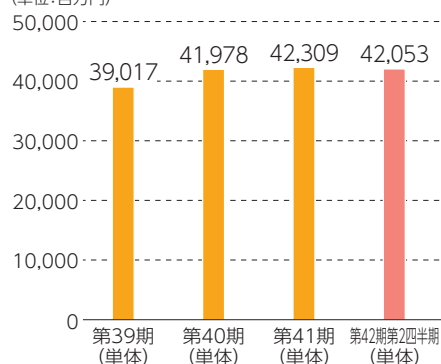
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



TOPIC

1

餃子の主要食材、 麺の小麦粉国産化から一周年

当社は昨年10月、餃子の主要食材と麺の小麦粉を国産化しました。特に、北海道産にこだわった小麦粉はやや粘りがあり、食感もちもち感が強いことが特長です。お客様に安定して提供するため、製造工程などで試行錯誤を繰り返した結果、黄金の「焼き色」の皮、「つるつる」の食感の麺を実現することができました。また青森県産のにんにくは、厳しい寒さの中で育つため糖度が高く甘みの強いのが特長。餃子の味も美味しくなったとお客様から評判です。



TOPIC

2

東松山工場の建設が 順調に進行中



建設中の東松山工場は、本格稼働に向け工事が順調に進んでいます。環境と衛生面に配慮して太陽光発電設備、地中熱利用空調換気システム、食品廃棄物飼料化施設、廃プラスチック再資源化装置などを導入し、CASBEE基準（建築物総合環境性能評価システム）の取得を目指しています。来年年始には機械類の搬入を開始、3月に竣工を予定しています。

TOPIC

3

社内コンテストを 勝ち抜いた 「ご当地麺メニュー」を 限定販売

7月から8月の期間限定で、地域の食文化や特産食材を取り入れて都道府県ごとに考案した「ご当地麺メニュー」を販売しました。これらは全従業員より募集した中から、味、見栄え、ご当地度、調理工程など厳しい審査を通過し選ばれました。「餃子の王将」は、創業時より各店舗が地元のニーズに合わせたオリジナルメニューを考案・販売してきました。今後も第2弾、第3弾と皆様に喜んでいただけるご当地メニューを販売していきます。



TOPIC

4

「餃子の王将」が監修 「からあげクン 餃子味」を ローソンで発売



6月30日より、「からあげクン 餃子味」を全国のローソンにて、300万食の数量限定で発売しました。この商品は「餃子の王将」の餃子と同じ具材を使用。細かく刻んだキャベツとニラを国産若鶏の胸肉に入れ込み、にんにくや生姜、

ラー油を加えたしょう油ベースのタレに漬け込みました。さらに酢の風味を効かせて「餃子の王将」の餃子の味を再現したものです。当社が食品を監修するのは初めての試みです。

TOPIC

6

餃子のお皿 プレゼントキャンペーンが 大好評

「餃子の王将」全店で、お持ち帰り用生餃子をご購入いただいた数に応じて、店舗で使用しているものと同じ「餃子のお皿」を進呈しました。お店だけでなく、家庭でも焼きたての餃子を盛り付け、味わっていただきたいとの思いから企画したものです。8月のキャンペーンが大変好評だったことから、10月より第2弾を実施しています。



TOPIC

5

女性会員拡大を目指し、 「ハローキティバージョン」を 提供

ご利用代金の割引などお得な会員特典がついた会員カード「ぎょうざ倶楽部」。平成28年版の会員募集を、8月から11月末まで実施しました。今回は女性会員の拡大を目指し、期間・数量30万枚限定でハローキティバージョンの提供も行いました。



TOPIC

7

一般社団法人 日本経済団体連合会に 入会

10月27日、代表的な総合経済団体である一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）に入会しました。これを機に、社会経済の発展を担っていけるよう企業としての役割を明確にし、また広く各国の政府・経済団体・国際機関との関わりを持ちながら良き企業市民としての社会的責任を果たすべく、今後もさらに成長を続けてまいります。



CSR活動

当社は、経営理念に基づき、株主様・お客様・従業員など、すべてのステークホルダーの期待とニーズに応え、社会の一員としてともに発展していくために、環境への取り組み、社会貢献活動、コンプライアンスの取り組みなど、様々な活動を行っています。

盲導犬育成のための募金活動に協力しました

当社は、公益財団法人関西盲導犬協会の活動趣旨に賛同し、平成25年11月から全店舗に補助犬の積極的な受け入れを明示するための「補助犬同伴可ステッカー」を掲示しています。それとともに、同年12月からは関西の店舗を中心として、「盲導犬育成募金箱」の設置を行い、募金活動に協力しています。

平成26年度は、募金箱設置店全店で112万360円の募金をいただき、全額を同協会に寄付いたしました。同協会から12名の視覚障害者の方へ盲導犬を貸与されました。募金にご協力いただいたお客様に感謝いたします。

当社では今後も募金活動を継続し、盲導犬の育成に貢献してまいります。



循環型社会の形成に取り組んでいます

当社は、循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に行っています。

店舗に設置の生ゴミ処理機にて一次処理した食品残渣を肥料化し、それを使って栽培した野菜を一部店舗の食材として使用しています。これによって、農林水産大臣および環境大臣より、事業を広域に展開している外食企業として初めてリサイクルループ(再生利用事業計画)の認可を受けるとともに、平成21年度食品リサイクル推進環境大臣賞を受けました。

工場では、排出される麺の切れ端やキャベツの芯などを真空乾燥機で処理した後、家畜飼料の原料として再利用しています。



店舗での分別
協力農場



店舗設置の処理機
協力工場での肥料化



店舗のご案内

平成27年9月30日現在の

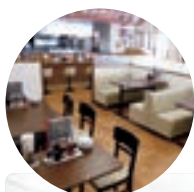
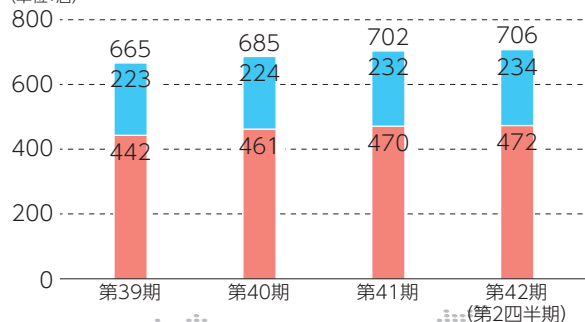
店舗数

全国 706 店舗

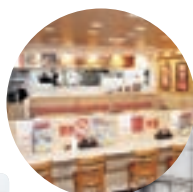
(直営472店 / FC234店)

店舗数の推移

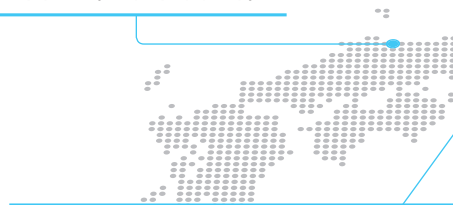
(単位:店)



東伯店(鳥取県東伯郡)



麻生店(札幌市北区)



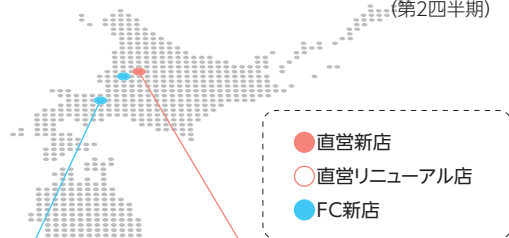
上本町ハイハイタウン店(大阪市天王寺区)



高円寺店(東京都杉並区)



西白井店(千葉県白井市)



イオンモール旭川西店(北海道旭川市)



会社・株式情報 (平成27年9月30日現在)

会社概要

商 号 株式会社王将フードサービス
(英 文 名) OHSHO FOOD SERVICE CORP.
創 業 年 月 日 昭和42年12月24日
設 立 年 月 日 昭和49年7月3日
主 な 事 業 内 容 中華料理等飲食店の経営および食料品の製造販売
資 本 金 8,166,383,816円
従 業 員 数 2,038名

役 員

代 表 取 締 役 社 長	渡 邊 直 人
代 表 取 締 役 会 長	土 肥 原 啓 二
専 務 取 締 役	掃 部 昌 之
常 務 取 締 役	是 枝 秀 紀
取 締 役	杉 田 元 樹
取 締 役 (社 外)	池 田 直 子
取 締 役 (社 外)	稲 田 旭 彦
取 締 役 (社 外)	渡 邊 雅 之
常 勤 監 査 役 (社 外)	中 村 豊
監 査 役 (社 外)	中 谷 健 良
監 査 役 (社 外)	木 曾 裕

主 な 事 業 所

本 社 京都市山科区西野山射庭ノ上町294番地の1
地区本部 東京地区本部 東京都千代田区神田須田町
2丁目11番地 協友ビル3階
九州地区本部 福岡市東区松島3丁目7番13号
工 場 久御山工場 京都府久世郡久御山町
田井東荒見1番地1
西野山工場 京都市山科区西野山射庭ノ上町
294番地の1
船 橋 工 場 千葉県船橋市習志野4丁目14番5号
南習志野工業団地
九 州 工 場 福岡市東区松島3丁目7番13号
札 幌 工 場 札幌市手稲区新発寒6条1丁目1番46号
店 舗 直営店:472店舗 FC店:234店舗



本社



久御山工場

株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	23,286,230株
株主数	16,414名

大株主の状況

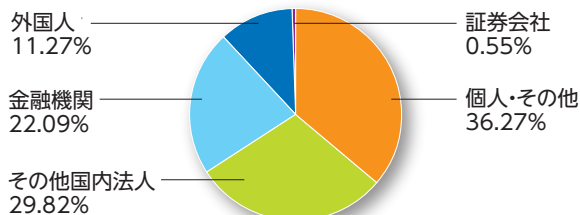
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アサヒビール株式会社	2,053	10.7
ジャパンフードビジネス株式会社	1,400	7.3
アリアケジャパン株式会社	1,100	5.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	786	4.1
加藤 梅 子	611	3.2
加藤 ひ ろ み	602	3.1
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	548	2.9
公益財団法人 加藤朝雄国際奨学財団	528	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	516	2.7
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	350	1.8

(注)1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

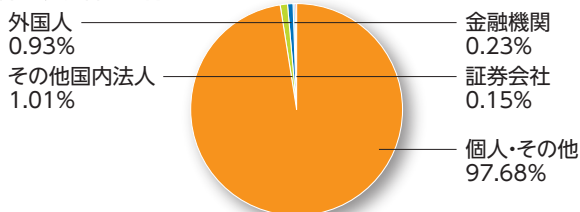
2. 当社は、自己株式4,100千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (自己株式を控除して計算しております。)

○株式数所有者別



○株主数所有者別



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

単元株式数 100株

配当金受領株主
確定日 3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

公告掲載方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子
公告による公告をすることができない場合は、日本
経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.ohsho.co.jp>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主
様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社
にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について
配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の
規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その
添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計
算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきま
しては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金領収
証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度、
「配当金計算書」を同封させていただいております。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主優待制度

当社では、株主のみなさまの日頃のご厚情に報いるため、当社全店舗でご利用いただけるお食事券および中間配当金の支払いを行うときは「ぎょうざ倶楽部カード」を進呈する優待制度を設けております。

○株主優待制度の内容

対 象 株 主 様	年2回、3月31日および9月30日現在の株主名簿に記録された100株以上ご所有の株主様。	100株以上200株未満	1,000円(500円×2枚)相当のご優待お食事券
		200株以上500株未満	1,500円(500円×3枚)相当のご優待お食事券
優 待 内 容	全国の「餃子の王将」各店舗でご利用いただける「株主様ご優待お食事券」を次により進呈。なお、同お食事券は当社商品の生ラーメンパックとの交換も可能。	500株以上1,000株未満	3,000円(500円×6枚)相当のご優待お食事券
		1,000株以上	6,000円(500円×12枚)相当のご優待お食事券
		有 効 期 限	平成28年6月30日

